

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月20日			
平成15年度	事業コード	15120	電話	042(769)8287
担当部課名	生涯学習部	生涯学習	課	成人教育 班
事務事業名	地域婦人団体の育成			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	いきいきとした生涯学習社会をつくれます	事業開始年度
基本施策名	第1節	生涯学習の推進	63以前年度
施策名	第1施策	生涯学習活動の支援	

2 実施根拠及び関連法令等

社会教育法、市補助金等の交付に関する要綱、課題別研修会開催要項、地域婦人団体指導者宿泊研修会開催要項、地区別研修会開催要項

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

義務的経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

あり

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
地域社会にあって、住民の連帯意識の高揚、家庭・地域の教育力の回復、消費生活改善、環境問題への取り組みなど、地域に根ざして活動する地域婦人団体の果たす役割は極めて大きい。地域婦人団体の運営を活発化するとともに、少子・高齢化、情報化、国際化等、急速に進展する社会の変化に応じた活動を促進するために、必要な指導者の意識や資質の向上を図り、あわせて団体活動の活性化を支援する。	地域婦人団体会員 対象数 約400人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
地域婦人団体指導者宿泊研修会の開催 1回 (旅費19千円、バス借上料245千円) 地区別研修会の開催 3回 (委託料60千円) 市地域婦人団体連絡協議会補助金 (補助金162千円)	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
	活性化達成率	活性化評価数値/25(満点)×100	活性化評価表(会員数、自主運営、活動参加状況、年齢構成、役員会出席率)の数値により成果を表す	12	13	14	15	16
				48	40	40	44	60
活動指標	参加率	参加者数/会員数×100	会員の事業への参加状況を把握することで活性化達成度を表す	122	50	63	75	88

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
		605	584	485	307	307
	人員・時間数	214	220	111	73	44
	人件費	891	916	462	304	184
	その他経費					
	合計	1,496	1,500	947	611	491
	特定財源					
	対象数	400	400	400	420	420
	対象の単位あたり経費	3.7	3.8	2.4	1.5	1.2

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	達成度から団体指導者中心の活動展開になっている傾向がある。団体活動全体を見据えた活性化を図っていく必要がある。
(2)必要性 評価 B ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 地域社会の一員としての意識や人間関係が希薄化している状況の中で、地域に基盤をもつ地域婦人団体の果たす役割は大きく、活性化を通じた支援策は必要である。
(3)有効性 評価 B ▼	A:有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		特に地域婦人団体指導者としての育成及び資質の向上を図る上で有効である。
		説明	
(4)効率性 評価 B ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
			<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	主に指導者を通じた事業の展開となっており、一定の効率性はある。
(5)公平性 評価 B ▼	A:公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	広く地域婦人団体を網羅した事業展開と十分にはなりえていない。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明: 子育て、福祉、環境、消費問題など、地域婦人団体の活動に期待されている地域課題も多く、支援育成の必要がある。	手段	補助金額の見直し、事業の見直し及び自主運営の推進
		削減額	千円

11 総合評価

評価	B ▼	他自治体の類似事業との比較
		県内自治体の多くで、ほぼ同じ規模の支援事業が実施されている。
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 創立以来50年近くに渡り、補助金支出等の支援がされている。また、活動団体数は現在3団体となっている。今後、時代の変化に対応した活動とともに、より自主的主体的な運営を促すため、段階的に補助金の削減を図り、活動団体数が2団体になった場合は廃止することとする。
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

補助金のあり方について見直しを検討すること
